

函館工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語総合Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0069			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	社会基盤工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	筑摩書房『古典探求 漢文編』、東京書籍『図説国語』						
担当教員	泊 功						
到達目標							
1.古文特に漢文の内容を理解することができる。 2.古文特に漢文に由来する言葉を理解することができる。 3.古文特に漢文の内容について調べ、まとめることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		古文・漢文の内容を理解し、関係する作品に興味を持つことができる。		古文・漢文の内容を理解することができる。		古文・漢文の内容を理解することができない。	
評価項目2		古文・漢文に由来する言葉を理解し、さらに多くの語彙を知ろうとすることができる。		古文・漢文に由来する言葉を理解することができる。		古文・漢文に由来する言葉を理解することができない。	
評価項目3		古文・漢文の内容について調べ、まとめたものを口頭か文章で発表することができる。		古文・漢文の内容について調べ、まとめることができる。		古文・漢文の内容について調べ、まとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 D 函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	古文・漢文の学習を通して、中国文化との関係を含む日本文化への理解を深めるとともに、それらに親しみながら、読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、社会において求められる読解力や思考力、コミュニケーション能力、表現意欲、および感受性を培う。						
授業の進め方・方法	基本的に講義形式だが、時間を取って発表も行う。 本講義は、1年次「国語総合Ⅰ」「コミュニケーション日本語Ⅰ」や2年次「コミュニケーション日本語Ⅱ」（物質環境工学科においてはコミュニケーションⅡC）の内容を踏まえ、基本的な古典を読む知識を学びながら、古典の文学的文章の読解を通して、国語の力（読む・聞く・書く・話す・考える）を養っていくものである。受動的な姿勢ではなく、積極的に学ぼうという姿勢が望まれる。						
注意点	評価については、主に定期試験と課題、小テストなどによって行う。毎回の授業をしっかりと受講し、ノートや資料をまとめておく、日頃からコツコツと取り組んでいく、などということをしていれば、対応は難しくない。 すでに述べたとおり、本講義は文学作品を読み進めていくスタイルである。できる限り双方向の講義となるようにするが、基本的には授業者の話を聞くことが多くなるだろう。従って、講義中に関係の無い取り組みをしていたり、不要の物を操作していたりした場合は、「意欲無し」と見なし、相応の減点措置となることを覚悟されたい。加えて、そのような姿勢であれば、将来に向けて必ずや失点となるであろうことを指摘しておく。 また、不合格となった場合には、特別指導期間もしくはそれ以前に1回だけ再試を実施する。それに不合格になった場合は単位未認定となる。 ※本科目は学修単位（2単位）の授業であるため、履修時間は授業時間60時間と授業時間以外の学修（予習・復習、課題・テスト等のための学修）を併せて90時間である。自学自習の成果は 課題によって評価する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、歴史的仮名遣い、漢文基礎（書き下し文など）		講義の詳細を理解できる。古典の基礎を理解できる。漢文の基礎を理解できる。		
		2週	故事成語①		「故事成語」に関する基本事項を理解できる。		
		3週	故事成語②		取り上げられた「故事成語」を語学的に理解できる。		
		4週	桃花源記①		日本でもポピュラーな桃源郷説話を訓読し、作者の概要を理解できる。		
		5週	桃花源記②		教材の内容を理解できる。		
		6週	桃花源記③		本作品の現代的意義を理解できる。		
		7週	漢詩①		近体詩の形式、きまりを理解できる。		
		8週	漢詩②		杜甫や李白、またはそれ以外の唐代の詩人の律詩を読んで理解できる。		
	4thQ	9週	史伝①		授業中の小テスト 中国における史伝（『史記』）の意義を理解できる。		
		10週	史伝②		取り上げた史伝の登場人物の行動とその意味を理解できる。		
		11週	史伝③		取り上げた史伝の登場人物の行動とその意味を理解できる。		
		12週	史伝④		取り上げた史伝の登場人物の行動とその意味を理解できる。		
		13週	史伝⑤		取り上げた史伝の登場人物の行動とその意味を理解できる。		
		14週	史伝⑥		取り上げた史伝の登場人物の行動とその意味を理解できる。		
		15週	学年末試験				

		16週	答案返却、解答解説		間違った箇所を理解できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
評価割合						
	試験	課題	小テスト	ポートフォリオ		合計
総合評価割合	70	10	10	10	0	100
基礎的能力	60	5	10	10	0	85
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	5	0	0	0	15